



QRコードを読み取り、令和2年2月定例会を選択すると一般質問が視聴できます。



もちづき のりお  
**望月 則男** 議員  
(富岳会)

## 商店街空き店舗対策事業について

**問** 採択された店舗の現在の継続営業率について伺う。

**部長** この制度を利用して開店した店舗数は合計で25店舗、現在は20店舗が営業している。また、閉店した5店舗については、閉店の理由は経営不振のためと伺っている。

**問** 大型商業施設に頼りすぎる商業行動に対する危険性について。

**部長** 以前は地域の商店がコミュニティや情報交換の場所になっていたが、最近では近所の子どもの見ても、どこのお子さんなのか全く分からないほど、地域のつながりが希薄になっているように思う。消費者の消費行動の変化は、中心市街地にぎわいがなくなるだけでなく、高齢者の日常生活や地域コミュニティにも影響を及ぼすと思われ

る。空き店舗対策事業を進める上で、魅力ある商店づくりを支援し、商店街を活性化させることで、こだわりの個人店、地域伝統の味を継承していただけるようなまちづくりを目指していく。

## 東京2020オリンピック・パラリンピック大会に向けての当市の活動について

**問** パブリックビューイングの実施はいかがか提案する。

**部長** パブリックビューイングは非営利団体のみ実施が可能で、大会スポンサーの商業的権利への配慮や安全確保など細かな規約があることから、庁舎市民ホールなどで実施する予定。

**副市長** どのやり方がいいのか、また教育部を中心になるが、庁内プロジェクトチームの中で御提案いただくことも含めて、可能かどうかも含めて検討してみたいと思っている。



の も と たかゆき  
**野本 貴之** 議員  
(芙蓉)

## 障がいを持つ方々への積極的な就労支援を！

**問** 市内の民間企業における障害者雇用率と達成企業の割合を伺う。

**部長** 富士宮公共職業安定所（ハローワーク）がまとめた令和元年6月1日時点の調査では、障害者雇用率は2.38%、達成企業の割合は67.9%。この達成率は県内トップの数字。

**問** 就労前の子どもを持つ保護者から子どもの就学時の悩みや不安に寄り添う相談支援の充実を求める声があるが、取り組みを伺う。

**部長** 相談件数は令和元年12月末で596件。障がいのある子どもを持つ保護者の方の不安は、情報が少ない、情報をどこで得ることができるのか分からない点にある。今後関係機関等との連携強化を図り、保護者への情報提供の仕方について検討していく。

**問** 自立支援協議会の中に産業振興部も入れて企業や事業所連携を提案するが、どうか。

**部長** ハローワークとの関連性も含め、産業振興部と福祉部門と協調していく必要があるため、今後前向きに検討していきたい。

**問** 第6期障がい者計画の中に優良事業所の表彰があるが、就労継続した従業員個人の表彰制度を提案するが、どうか。

**部長** 御提案については次期の計画を策定していく中で検討させていただきたい。

**問** 計画の数値目標を国の指針に沿って考えるのではなく、障がい者全体のうち就労や福祉的就労者は1割にも満たないという認識を持ち、1割を2割にするとか野心的な考えを伺いたい。

**部長** なかなかお答えづらいが、国も重度障がい者の方の就労援助策を考えているような情報もあり、今後使えるものは取り入れて、市の状況に何が合っているのか考えた中で次期の新しい計画の数値目標というものを考えていきたい。

その他の質問：雑がみの回収の取組について